Taijyu ~巻頭言~ Spring 2023



"桜のかおり"

園長 髙杉 洋史

らでした。

「関長として今できることは子どもたいたいた。

「関長として今できることは子どもたいた。

子どものころに帰りたい気持ちです。とを考えずに楽しんでいると思うと、いのおを簡んだ時、大人が忙しさの中であるとができる子どもたちが羨ましくができる子どもたちが羨ましくができる子どもたちが続ました。香りとか、茎がぷつんと切なりました。香りとか、茎がぷつんと切なりました。香りとか、茎がぷつんと切なりました質感とか、茎がぷつんと切たのました。幼児は毎日の遊びの中で大人よりるととなる。幼児は毎日の遊びの中で大人よりるととなる。

かげで気づくことができました。かけで気づくことができました。とくさんの花が合わさってようやく漂知っている香りとも違います。本当にし、バラや水仙のような多くの方が漂っていました。桜餅の香りとも違う楽り間が迫るころ、かすかな香りが夕闇が迫るころ、かすかな香りが

楽をすもせ止られののなろみ遊しの 。はがめせなでこるのてびょ時保 みいわきや、バいすろか思はのう間護 ま出たっつ自イだ。のもいい世がを者 すしとて分ブけ忙かし出か界、持の ょこた春くのレでしけれががに時つ皆 うとち風る時ーすいがまよで一にこ様 が大のか問シ。大えせみし緒はとは 人香もをョ時人のんがょに手自毎 きもりし取ンにのなよえうどを体日 まきがれりやは時い。りかっ止難の **、**。ぷあしお っ分ま返呼ス間思私 とかせすびマでいた心幼り `い仕 子そっんこ出木意出ちがかつ我毎事 °としの識がに温っかが日で て感い子で音おにあはかたっ子で自 を覚まど幸を知現るこくこての 分

えのあがなすドた さ世の花っ。リだあ れ界頃のてこコ花の まには色かのソの頃 す浸時合ら花ウ青は っ間いでののさ名 てががす名薄に前 いた鮮。前桃ひな たっ明名を色かん んぷだ前知のれて だりっをっ思てど なあた知たいいう あっ気るの出ま لح てが前ももしも しの大あたよ い自まほ人りか分すうにまる うにまオ



桜の花を見上げなが

髙杉 美稚子

教頭

きる。そして、見事に散っていく。毎年思うことです 年も、翌年も、そして今年も年に一度の命の花を咲か 散っていく。約束を交わしているわけでもないのに翌 という決意で、今年度を楽しんで、リラックスして、 と感じています。そして、これが最後になってもいい ながら、あと何回この桜を見ることが出来るのだろう が、人生もこのようでありたいと、今年の桜を見上げ せにきてくれました。桜の約束は美しく実にいさぎよ また来年も、見事な桜に会えるだろうと思います。 頑張ることが出来たらきっと、いい一年になるだろう こぞというときに咲き誇って、きちんと自分を主張で に咲いているかわからないくらい目立たないのに、こ この季節になると、思い切り命の花を咲かせ見事に ずっと根を張り、力を秘め、日頃はどこ

えることが出来る年がとうとうやってきたからでし いような気がしています。 5月8日のコロナ明けを迎 年の桜は、思いが通じているのか、少しピンク色が強 ょうか。あと少しですね、清々しい気持ちです。 式にはもう散ってしまうのが、とても残念ですが、今 いつの間にか、3月に満開になるようになり、入園

渡る日々、出来ないことが多いからこそ、コロナ禍だ 咲かせるように生きていきましょう。 のように今年度も園児、保護者の方と共に集団美の華を げるような集団美の美しさがあります。 桜の生きざま でした。桜は一輪でも美しいのに、チーム皆でやり遂 学びの多い、そして、やり遂げた達成感が多い、5年 を考えながら走り抜けた5年でした。 辛かった半面 来ないではなく、「これが出来ないなら何が出来る」 施してきた日々を振り返っています。常に、これが出 からこそ出来る保育をと全ての行事を分散開催で実 コロナ明けはいつ来るかと丸三年半、足掛け5年に

> の学びに繋がる、けんかや怪我はこれからもあります。 も、その他の病気も、そして、子ども達にとっては、次 さて、コロナ禍は去っても、インフルエンザもコロナ 「子育ては自分育て」全ての事から、学んで、成長出来

る子どもを取り巻く大人でいたいですね。

くれました。まさに春爛漫。桜はすごいですね。

令和5年度の幕開けです。今年も桜は見事に咲いて

らもたくさんの愛情をくれます。 のように一番可愛い、大事です。子ども達はこれか が可愛いように、私はゆりの樹幼稚園の園児が宝物 何でもお話しして下さい。そして、皆さんが我が子 育にあたって参ります。ご不安やご不満がある時は 信頼関係が一番です。 今年度も職員一同心を一つに保 その為には保護者の方と、ゆりの樹幼稚園の職員との

職員に下さると自分の事のように本当に嬉しくなり メッセージを頂き感謝しています。 ます。ゆりの樹幼稚園の保護者の方は本当に私達と と同時に教師も私達にとって宝です。担任が頑張る を育てることは私の命題です。子ども達も宝である ことが出来るように言葉をかけ励まし勇気づけま です。 園児達は職員が育ててくれます。 そして職員 緒に感動して下さる方が多く、たくさんの感謝の 担任は我がクラスの子どもが一番大好きで可愛い だから職員を大切にして下さり、感謝の言葉を

顔でいようとする前向きな姿勢、そして、嬉しい事 優しく、 明るく思いやりのある環境の中で、 共に子 も、泣きたくなることも両方受け止め、楽しんだ に子どもたちと成長していきましょう。 どもを育て、 子育てを楽しんで頂き自分を育て 一緒 **省、そこから学んだ者が徳です、人徳の徳です。そ** て下さると嬉しいです。どんなことが起こっても笑 して人生が楽しくなります。そうやってゆりの樹で どうか、子どもを育てると同様、職員も共に育て

そして、先がわからないことに、チャレンジしてい

す。 て「悩みのトンネルの抜け出し方の言葉」を贈りまいます。次ページに私の好きな先生の言葉に加筆しく時、特に子育て中は不安や後悔、悩みが付きまと

抜け出し方11の方法悩みのトンネルの

- 聞いてみる勇気と正直な気持ちを持つ。ので、どのような理由で怒っているのか、具体的にった。自分が勝手に思い込んでいるだけのこともある。自分が勝手に思い込んでいるだけのこともある。(○これ以上悩まない為に戦ってみる。
- ④悩みに対して開き直る。→素敵なお母さんになりまったなと自分で認めて受けいれる。慣れてしままったなと自分で認めて受けいれる。慣れてしまる悩みに慣れる。→またいつもの自分の悩み癖が始
- てしまえば、楽に生きていけます。ようが「これが私、それが何か?」と自分で認めたいのは誰でもですが『私は私』誰に何をいわればいに対して開き直る。→素敵なお母さんになり
- ⑤悩みをかわす →その人との間についたてがある
- もあります。時が経つということは素晴らしいこなったら、1週間したら、何とかなっていることいます。明るい光の中で、考えましょう。明日ににする。夜、考えると、どんどん沼に入ってしま⑥悩みを据え置く。→とりあえず、明日考えるよう

- ひめとこうの 、小りでないでは、これでは、これでは、いっ。自分も少し大人になれるかもしれません。の一つです。とりあえず、明日まで待ってみましとです。忘れるということも人間に許された行動
- ⑦悩みに浸る →身近な人の死など涙かれるまで泣の悩みに浸る →身近な人の死など涙かれるまでだと思うことです。泣くことを我慢しかかるものだと思うことです。泣くことを我慢していたら、その感情を押し込めてしまいます。思
- る所からやってみる。
 ◎悩みを嚙み砕く。→具体的な行動に変える。出来
- ゆます。増幅させるような友達は持たない事ですがます。増幅させるような友達は持たない事ですれます。良いことは二倍に、嫌なことは半分にな⑨悩みを忘れる →良い友達、家族がいれば忘れら
- です。です。でらないか、悩みと真剣に向き合うならないか、悩みと真剣に向き合うならないか、その為には、今、何をしなければいるに取り組む →自分がなにを考え、どうして

きでは、「ママはセラピスト」や今回出版した私の詳しくは、「ママはセラピスト」や今回出版した私の話えて、「好きになれる自分である。事が大切だと考えます。どうぞ悩みを出来るだけ小さくして素敵な笑えます。どうぞ悩みを出来るだけ小さくして素敵な笑えます。どうぞ悩みを出来るだけ小さくして素敵な笑えます。どうぞ悩みを出来るだけ小さくして素敵な笑えます。どうぞ悩みを出来るだけ小さくして素敵な笑えます。どうぞ悩みを出来るだけ小さくして素敵な笑えます。どうぞ悩みを出来るだけ小さくして素敵な笑えます。どうぞ悩みを出来るだけ小さくして素敵な笑えます。どうぞ悩みを出来るだけ小さくして素敵な笑えます。どうぞ悩みを出来るだけ小さくして表した。

